

5 労働保険料等算定基礎賃金等の報告の記入要領及び記入例

⑦…事業の概要(製品名、製造行程等)を具体的に記入してください。
 ⑩…労働保険料の延納(分納納付)の申請を希望する場合にはイを○で、希望しない場合にはロを○で囲んでください。

⑪…令和6年4月1日から令和7年3月31日までに使用した労災保険対象者の数(各月末(賃金締切日がある場合には月末直前の賃金締切日)の数)と雇用保険対象被保険者の数及び賃金の総額を各欄の区分により記入し、その合計(⑥欄及び④欄には②欄及び③欄の1,000円未満の端数を切り捨てた額をそれぞれ記入し、⑤+④欄には、⑥欄の額に②欄の⑤欄の額を加えた額を記入し、⑧欄には、④欄の額を記入してください。)をそれぞれの欄に記入してください。なお、合計欄の平均労働者数等については、次により記入してください。

(1) 「1ヵ月平均使用労働者数」欄には、令和6年度中の1ヵ月平均使用労働者数(小数点以下の端数があるときは、これを切り捨てた数)
 { 令和6年度の各月末(賃金締切日がある場合には月末直前の賃金締切日)の使用労働者数の合計 } を記入してください。
 12 (ただし、令和6年度中途に保険関係が成立した事業にあっては、保険関係成立以後の月数)

(2) 「1ヵ月平均被保険者数」欄には、前年度における1ヵ月平均被保険者数(小数点以下の端数があるときは、これを切り捨てた数)を記入してください。
 ※ただし、計算の結果が1名未満の場合は、切上げて1名としてください。
 また平均人数に「賞与人数」は含めません。

組様式第4号 労働保険料等算定基礎賃金等の報告 (事業主控)

① 労働保険番号 X301930010001 ② 雇用保険事業番号 XX01-064115-3

③ 事業の名称 ○○工業(株) TEL XX XXXX XXXX ④ 事業の所在地 ○○市○○ ○-○-○

⑤ 事業主の氏名 ○○ ○○ ⑥ 作成者氏名 ○○ ○○

⑦ 事業の概要(具体的に記入してください) ナイフ、フォーク等食卓用刃物の製造業

⑧ 特掲事業 (イ)該当する ○ (ロ)該当しない ○

区分	⑧ 令和6年度 確定賃金総額				⑨ 令和7年度 確定賃金総額			
	(1) 常用労働者	(2) 役員で労働者扱いの者	(3) 臨時労働者	(4) 合計	(5) 被保険者	(6) 役員で被保険者扱いの者	(7) 合計	
令和6年4月	11人	2,768,898円	1人	363,510円	0人	0円	12人	3,132,408円
5月	11	2,759,845	1	366,809	1	154,554	13	3,281,208
6月	11	2,738,461	1	368,177	1	142,100	13	3,248,738
7月	11	2,749,515	1	354,923	1	158,350	13	3,262,788
8月	11	2,821,268	1	362,118	1	166,611	13	3,349,997
9月	11	2,722,413	1	363,949	1	157,300	13	3,243,662
10月	11	2,899,716	1	363,668	1	183,659	13	3,447,043
11月	11	2,896,855	1	365,919	0	0	12	3,262,774
12月	11	2,873,226	1	360,563	0	0	12	3,233,789
令和7年1月	11	2,875,869	1	362,115	0	0	12	3,237,984
2月	11	2,783,193	1	361,992	0	0	12	3,145,185
3月	11	2,767,933	1	372,334	1	176,401	13	3,316,668
賞与等6年7月		5,591,225		752,115		0		6,343,340
年12月		6,670,719		897,325		0		7,568,044
年月								
合計	45,919,136	6,015,517	1,138,975	53,073,628	45,919,136	6,015,517	51,934,653	
				人 53,073			人 51,934	
				千円 61,103			千円 51,934	

⑩ 令和6年度確定		⑪ 令和7年度概算		⑫ 令和7年度 賃金総額の見込額		⑬ 令和7年度 賃金総額の見込額	
承認された給付基礎日額	保険料算定基礎額	承認された給付基礎日額	保険料算定基礎額	労災保険	雇用保険	労災保険	雇用保険
12,000円	4,380,000円	14,000円	5,110,000円				
10,000円	3,650,000円	10,000円	3,650,000円				
	8,030千円	合計	8,760千円				

⑫…中小事業主等の第1種特別加入の承認を受けた者がいる場合は、その者の「承認されている給付基礎日額」及び「保険料算定基礎額」を、⑩欄には、その合計額(1,000円未満の端数があるときは、この端数を切り捨てた額)を記入してください。

⑬…中小事業主等の第1種特別加入の承認を受けた者がいる場合は、その者の「希望する給付基礎日額」及び「保険料算定基礎額」を、⑩欄には、保険料算定基礎額の合計額(1,000円未満の端数があるときは、この端数を切り捨てた額)を記入し、⑪+⑫欄には、⑪欄の額に⑫欄の額を加えた額を記入してください。

⑭…各欄は次により記入してください。

(1) 令和7年度の賃金総額の見込額が前年度の賃金総額の2分の1以上、2倍以下の場合には、「⑫合計」欄に「前年度と同額」と記入し、⑩欄から⑬欄までは記入しないでください。

(2) 賃金総額の見込額が2分の1未満、2倍超になる場合は、⑩欄は、令和7年度における1日平均使用労働者の見込数(延使用労働者数を所定労働日数で除したものを)、⑪欄は、令和7年度における1ヵ月平均被保険者の見込数(使用労働者全員が雇用保険法の適用を受ける場合は、前記⑩の1日平均使用労働者の見込数)を、⑫欄は、令和7年度の支払賃金総額の見込額を、⑬欄は、令和7年度の賞与等臨時支払賃金の見込額を記入し、⑭欄に、⑫欄の額と⑬欄の額との合計(1,000円未満の端数があるときは、この端数を切り捨てた額)を記入します。

⑮…雇用保険に係る保険関係が成立している事業で、次の事業(以下「特掲事業」という。)に該当する場合にはイを○で、特掲事業に該当しない場合にはロを○で囲んでください。

- 土地の耕作若しくは開墾又は植物の栽植、栽培、採取若しくは伐採の事業その他農林の事業(園芸サービスの事業は除く。)
- 動物の飼育又は水産動植物の採捕若しくは養殖の事業その他畜産、養蚕又は水産の事業(牛馬の育成、酪農、養鶏又は養豚の事業及び内水面養殖の事業は除く。)
- 土木、建築その他工作物の建設、改造、保存、修理、変更、破壊若しくは解体又はその準備の事業。
- 清酒の製造の事業。